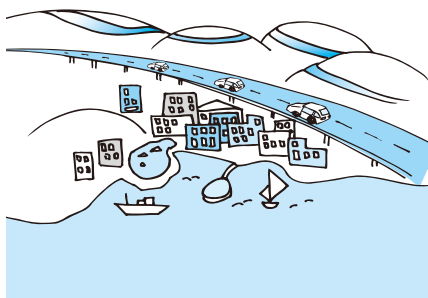


**答** 早急な対応が求められている待機者のために、第5期事業計画では、小規模特別養護老人ホーム3カ所開設を計画している。第6期事業計画以降、待機状況によっては広域型特別養護老人ホームの整備を進める必要があると考える。

### 国道247号中央バイパス沿線上の区域について

**問** 沿線上の区域における基本的な考えを伺う。

**答** 沿線から内側は、住居系地域に位置づけ、人口見通しや市街地の土地利用の現状等を考慮し、必要に応じて沿線周辺までは市街化区域に拡大したいと考えている。また第4次総合



計画で、その中の企業用地候補地については、研究開発ゾーンの位置づけを、土地利用計画に追加している。

### 伴 捷文(市政クラブ)

### 平成24年度予算編成について

**問** 24年度の歳入見通しについて伺う。

**答** 23年度の当初予算と比較してマイナス3.1%、3億8820万円減の121億470万円と見込んでいる。

**問** 市長マニフェストに市債10%削減とある。どのような状況か伺う。

**答** 24年度の発行額は、おむね23年度並みを見込んでいます。ただし、元金の償還以上の借入れがないよう、総額を抑制し、市債残高の減少に努めていく。

### 競艇場の施設改善工事中の売り上げ向上策を

**問** 開催時間を少しずらし、終わりを遅らせることを試行的に行ってはどうか。



ボートレース蒲郡

**問** 地元住民の理解が得られなければ行えない。次の周辺対策会議の中で、一歩前に出ることができれば、報告させてもらう。

### 柴田安彦(無会派)

### 東三河県庁の位置づけと市の関わり方について

**問** 東三河に大いに力を入れるものと期待しているが、意外と権限や予算の移譲がない。東三河県庁の動きをどう評価しているか。

**答** 東三河の抱える広域的な政策課題も多い中で、東三河のことは東三河で決めるというスタンスのもと、

今後東三河県庁にさらなる権限と財源が移譲されることを期待している。

**問** 来年度に策定する東三河振興ビジョンの中に、本市はどのようなものを盛り込んでもらいたいのか。

**答** 本市を含め東三河には、いろいろな観光資源がある。県の観光行政における軸足を、東三河県庁に持つてきてもらいたい。

**問** 東三河県庁が県庁との二重行政にならないように働きかけをすべきでは。

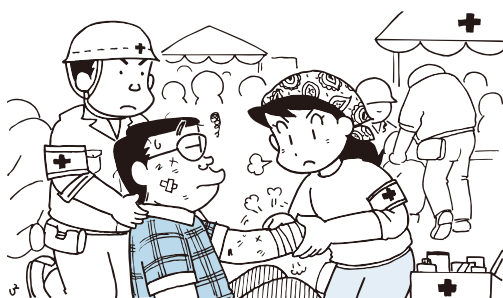
**答** 今の状況は、二重行政ではないかと判断していきたくは思っていない。きちんと物言いをしたい。

### 伊藤勝美(公明党)

### 防災・減災対策の強化に向けての人的体制強化を

**問** 4連動、5連動地震が危惧されている。早急に地震災害初動対応マニュアル等の見直しをすべきであるが、人的パワーが不足しており進んでいない。防災担当を、再配置を含め拡充すべきと考えるがどうか。

**答** 具体的な項目を入れた訓練マニュアルを2月の自主防災会代表者会議で配布できるよう準備したい。



**問** 市役所全体のスリム化を実施していく中で、防災担当職員だけを増員することは難しい。場合によっては各課から職員を選任したプロジェクトチームで対応することも考えられる。

### 自主防災会の平常時の活動について

**問** 防災訓練の実施等の諸活動に対して「だれが、いつ、どこで、どんな手法で」といった具体的な行動マニュアルを示しては。

**答** 具体的な項目を入れた訓練マニュアルを2月の自主防災会代表者会議で配布できるよう準備したい。